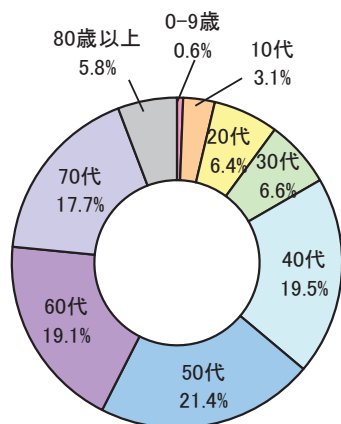


特別展「平安の秘仏—滋賀・櫛野寺の大観音とみほとけたち」

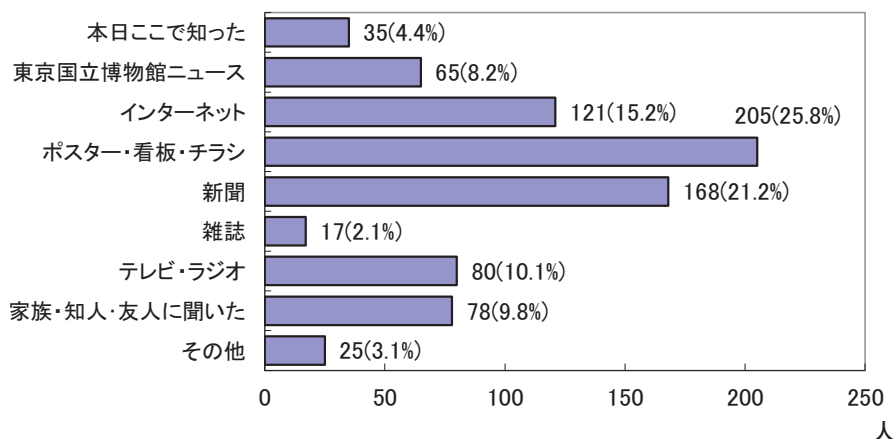
アンケート集計結果

開催期間：平成28年9月13日（火）～平成29年1月9日（月・祝）（96日間）
 回答者数：355人（総入館者数：212, 144人 アンケート回収率：0.17%）

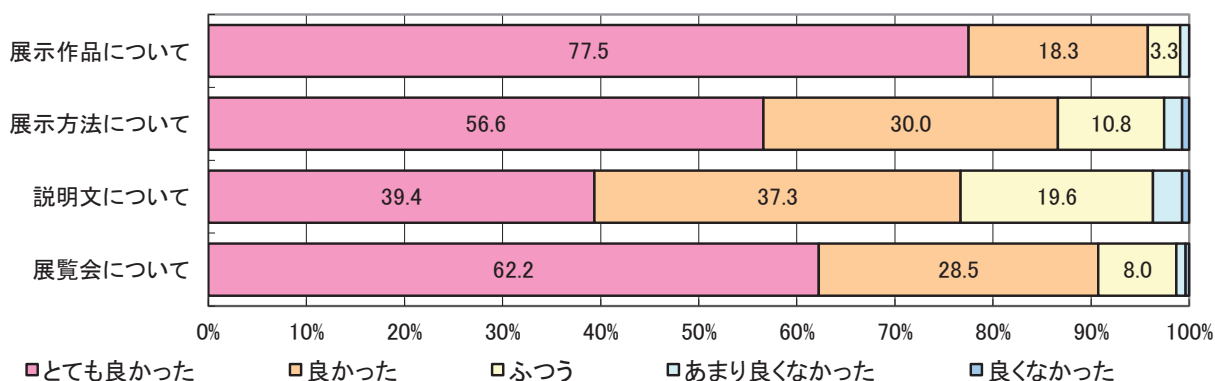
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・日本最大の重要文化財という「十一面観音菩薩坐像」の存在感に圧倒された。
- ・めったに見られない秘仏を360度拝観できたことに感動した。
- ・音声ガイドが分かりやすく面白かった。
- ・グッズに魅力的なものが多くてよかった。
- ・会期延長があり、再度鑑賞することができてよかった。

◇「あまり良くなかった」「良くなかった」

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	0.9	0.0
展示方法	1.8	0.7
説明文	3.0	0.7
展覧会	0.9	0.4

(%)

滋賀県甲賀市に所在する天台宗の古刹・櫛野寺【らくやじ】には重要文化財に指定される平安時代の仏像が20体も伝わります。その数は、優れた仏像が数多く残る滋賀県でも特筆されます。本展は、20体すべてを寺外で展示する初めての機会となりました。

本尊の十一面観音菩薩坐像は像高が3mもある圧巻の作品で、普段は大きく重い扉に閉ざされる秘仏です。重厚感ある堂々とした姿ですが、美しい顔立ちは、見る人に安らぎを与えることでしょう。その十一面観音とともに2.2mある薬師如来坐像が並ぶ様子は壮観といえます。他にも、11体の観音や、どこか親しみのある毘沙門天立像、文治3年(1187)に造られたことが知られる貴重な地藏菩薩坐像なども出品され、櫛野寺に伝わる平安彫刻の傑作が一堂に会しました。櫛野の里にまだ残るかくれ里の空気とともに櫛野寺の秘仏をお楽しみいただく機会となった本展には、21万人を超える方々にご来場いただきました。

アンケートの結果、展覧会に対して90.7%の方々から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことが出来ました。一方で、「会場が狭い」「会場内に座れる場所が欲しかった」などのご意見も寄せられました。

今後も、来場者からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。